

試合番号 : 187		試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館)				観客数 : 6,500	
開始時間 : 12:40		終了時間 : 14:54		試合時間 : 02:14		主審 : 江下 毅	
副審 : 原 啓之		JTサンダース広島		ウルフドッグス名古屋		通算 7勝 11敗 ポイント : 22	
監督コメント	この厳しい試合を勝ち切る事が出来たことに選手達にはおめでとうと言いたい。 4セット目もリードされている状況だったが、最後まで粘りをみせ、逆転する事が出来た。 ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。		3	25	22	1	監督コメント JTサンダース広島勝利おめでとうございます。 接戦でしたが、相手が上回った事で勝ちを逃がしてしまいました。 我々もそういう場面でも、勝てるように目指していきたい。
				25	23		
				21	25		
				26	24		
				第5セット			
要約レポート ホームゲームの大歓声を受けて、2レグを勝利で締めくくりたい3位JTサンダース広島と7位ウルフドッグス名古屋の一戦。 第1セット、序盤はお互いに得点を取り合うが、中盤にJT広島が陳、小野寺のサービスエースやアタックなどで点差を広げた。WD名古屋は、高松のアタックで点差を詰めたが、最後はJT広島のエドガーの強烈なアタックが決まりセットを先取した。 第2セット、両チームとも一歩も譲らない展開のまま終盤を迎えたが、JT広島が小野寺、山本、エドガーのアタックで1点を争う展開を制して連取した。 第3セット、今度はWD名古屋が樽田、高梨、山田のアタックなどで終始優位に試合を進めた。JT広島は、アウトサイドヒッターを陳から八子に代えて流れを変えようとするが、WD名古屋が高梨、高松のアタックに加え、途中出場の高松のサービスエースなどでセットを奪い返した。 第4セット、第3セットの勢いそのままWD名古屋が山田、高梨のアタックでリードした。JT広島はエドガーにボールを集めて何とか食い下がりがサイドアウトを繰り返したが、終盤にWD名古屋の高松がアタックを決めて23-20としてこのセットも取るかと思われた。しかし、ここからJT広島がエドガー、八子のアタックでブレイクに成功し、最後は八子のサービスエースが決まり逆転勝利を収めた。							
試合番号 : 188		試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館)				観客数 : 4,070	
開始時間 : 15:45		終了時間 : 16:57		試合時間 : 01:12		主審 : 服部 篤史	
副審 : 浅井 唯由		パナソニックパンサーズ		ジェイテクトSTINGS		通算 17勝 1敗 ポイント : 47	
監督コメント	最終サーブで押され、立て直すことが出来なかった。 このような強いサーブの中でも、サイドアウトをしっかりと取っていかないと3レグ以降、苦しい戦いになると思う。 この敗戦をしっかりと受け止め、来週からの3レグに向けてしっかりと戦っていきたい。 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。 来週と再来週のホームゲームでのご声援よろしくをお願いします。		0	20	25	3	監督コメント 高い集中力を保ち続け、終始自分達のペースで試合を進める事が出来ました。 来週から3レグに入りますが、更に勢いを上げていけるように取り組んで参ります。 広島大会の2日間、たくさんの方の応援ありがとうございました。 これからも引き続き応援の程、よろしくお願致します。
				19	25		
				14	25		
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート 第1セット、序盤はアタックの打ち合いで両チームが1点を取り合う展開となった。その後もサイドアウトを繰り返したが、ジェイテクトSTINGSが西田のバックアタックを皮切りにリードする。パナソニックパンサーズも多彩な攻撃から応戦するも及ばず、ジェイテクトの西田が連続得点を挙げてセットを先取した。 第2セット、スタートからジェイテクトが西田のアタックなどで突き放して2回目のテクニカルタイムアウトを迎えた。パナソニックは流れを変えようと大竹、渡辺を投入し奮起するも点差が縮まらず、ジェイテクトがセットを連取した。 第3セット、このセットも勢いに乗ったジェイテクトが6連続得点でリードを大きくひろげた。パナソニックは、大竹がサービスエースを取るなど追いついたが、勢いづいたジェイテクトを止める事が出来なかった。終始優位に試合を進めたジェイテクトが2レグ最終戦での首位決戦に完勝して首位に返り咲いた。							
試合番号 : 189		試合会場 : 熊本県立総合体育館				観客数 : 1,865	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:53		試合時間 : 01:53		主審 : 林 淳一	
副審 : 小野 将人		サントリーサンパーズ		VC長野トライデンツ		通算 2勝 16敗 ポイント : 6	
監督コメント	ホームゲーム2戦目で2セット目までは良かったが、3セット目にVC長野の粘りとサーブで苦しめられた。 4セット目は、サンパーズらしいバレーが展開でき、ホームゲームを2連勝で飾ることができ、来週に向け、勢いづいたと思う。 二日間、たくさんの方の応援ありがとうございました。		3	25	17	1	監督コメント 本日は2レグ最後のゲームでしたが、1-3で負けてしまい残念です。 良いところもありましたが、4セット目は、自分たちで崩してしまいました。 来週からは、3レグが始まります。チーム名とを信じて挑めば勝てる試合も増えてくると思うので、しっかり準備したいと思います。 遠くまで応援に来てくださり、ありがとうございました。
				25	23		
				23	25		
				25	11		
				第5セット			
要約レポート ホームで連勝を狙うサントリーサンパーズと連敗を止めたいVC長野トライデンツの試合は、サントリーが大歓声を受けて連勝を5にのぼした。 第1セットと第2セットは、VC長野のセッター樺はパトリック、池田、栗木にボールを集め攻撃を組み立てるが、サントリーは粘り強いレシーブと高いブロックで守り、ムセルスキーの高さのあるスパイクなどで2セットを連続して取った。 第3セットは終盤まで1点を争う試合展開となった。サントリーはセンターに小野をコートに戻して攻撃のリズムを立て直しをはかるが、VC長野はパトリック、池田、森崎が中心となって得点すると、最後は池田がスパイクとブロックで活躍し接戦をものにした。 第4セット、サントリーは小野の2点連続サービスエースでVC長野を引き離すと、レフトに起用された秦が攻守に活躍し、加藤の速い攻撃や、藤中のバックアタックで一気にリードを広げると、途中出場のセッター西田が丁寧なトスで攻撃を組み立て勝利した。							
試合番号 : 190		試合会場 : 熊本県立総合体育館				観客数 : 2,140	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:24		試合時間 : 01:24		主審 : 山本 和良	
副審 : 國頭 亮太		堺ブレイザーズ		大分三好ヴァイセアドラー		通算 2勝 16敗 ポイント : 8	
監督コメント	本日の試合のターニングポイントは2セット目の小池のサーブによるものでした。サーブ、ブロックも本日もまた良く出来ていたと思います。高野、樋口にとっても良い試合でした。 トレス不在の中、パナソニックの取れた試合運びが出来たと思います。 本日も遠方までいらしていただきましたファンの皆様へ感謝いたします。 引き続き応援の程、よろしくお願申し上げます。		3	25	17	0	監督コメント 本日の試合も昨日と同様に良い流れは作れているが、セット奪取に繋がらないことは課題となっています。 勝利をつかみ取るメンタルをチームとしてもう一度見直し、次戦にぶつけていきたいと思っております。 本日もご声援ありがとうございました。
				26	24		
				25	15		
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート 熊本大会を連勝で飾りたい堺ブレイザーズと連敗を脱したい大分三好ヴァイセアドラーの戦いは、堺が勝利し、連勝を5に伸ばし、8勝10敗とした。 第1セット、セッター関田の連続サービスエースで流れを作った堺は、その後も得点を重ね、樋口の3連続サービスエースも加わり、25-17で先取した。 第2セット、負けられない大分三好が、バグナス、アヤカらの攻撃で序盤からリードする展開となった。後半、ねばる堺は松本のブロックとリリーフサーバー山本のサービスエースで同点に追いつくと、最後は樋口の連続スパイクが決まり、26-24で接戦を制した。 第3セット、堺は、セッター関田の抜群のトスワークで終始流れをつかみ、松本、宮原らの活躍で追いつく大分三好を突き放し、25-15で勝利した。							